

令和8年度 大分県軟式野球連盟中津支部

総会議事録

令和8年1月31日(土)

学童部総会 14:00～

ダイハツ九州アリーナ会議室

一般部総会 18:00～

中津市教育福祉センター

1 会長挨拶

2 次第

1) 令和7年度事業結果報告について(別紙大会記録参照)

※承認

2) 令和7年度決算(案)について

※承認

3) 令和7年度監査報告

※承認

4) 令和8年度事業計画(案)

①大会スケジュール表確認(別紙)について

1. 学童会長杯は中津支部チームのみとする
2. 審判講習会について(審判部 2/7・学童 2/28)
3. 県大会県北会場 ・高松C 6/6.7.13
4. 佐賀中津交流大会の開催(10/17.18)

②学童大会チーム塁審(1・2回戦4人制)の導入

1. 1・2回戦に2名のチーム塁審を導入し4人制とする
2. チーム塁審は試合前ミーティング(審判部室以外)を行う
3. チーム塁審の割り当て
 - ・4試合では第1試合⇔第2試合、第3試合⇔第4試合のチームが交互に1名ずつ対応
 - ・3試合では第1試合と第2試合は次試合のチーム、第3試合は第1試合のチームが1名ずつ担当
 - ・2試合では第1試合⇔第2試合のチームが交互に1名ずつ対
 - ・1試合では審判部のみで対応
4. チーム塁審に審判代は支払わない
5. 試合途中での交代は認められない

※服装はスポーツに適したもの(帽子は必須)

※対象者は審判経験及び審判講習会の参加有無を問いません。

- ③翌年度西日本大会 B.C 級の代表決定について ※以下承認
1. 王座を予選会とし B/C 級の代表チームをトーナメントで決定後、B/C 級の優勝チームで王座決定戦を行う
 2. 令和 9 年度は年間大会数の開催を含め、次年度西日本予選を王座とは別に後期開催するか一般総会で決定する。

- ④令和 8 年度クラス編成 ※以下承認
1. 既存 B クラスチーム ・ Legend ・ 中津市役所 ・ 北斗昇格チーム ・ BIGBANG ・ MDA 以上 5 チーム
 2. 大会はトーナメントとするが、出場チームが 3 チームとなった場合はリーグ戦とする。理事会推薦チーム

- ⑤令和 8 年度登録並びに大会参加について ※以下承認
- ・「令和 8 年度の登録及び大会参加申し込みについて」別紙参照

- ⑥学童野球の遵守事項取り扱いについて(校区対応) ※以下承認
1. 大分県連盟学童遵守事項を規範とする(更新版を後日配布)
 2. 令和 9 年度は投手⇄捕手の交代ができなくなる

- ⑦県民体育大会のチーム選出 ※以下承認
- ・中津市選抜チームとし、チーム構成員は連盟一任とする

- ⑧中学校のクラブ活動について ※以下承認
1. シーズン終了後の 3 年生を対象とした練習会の開催
 2. 練習会の指導者が不足していますので是非ご協力ください

5) 令和 8 年度予算(案) ※以下承認

- ①登録料について
1. チーム登録料 13,000 円
 2. 会員登録料 一般 200 円・少年学童 50 円／1 人
 - ・令和 8 年度は選手・指導者以外も対象
 - ・令和 9 年度より一般 500 円・少年(中学、学童)200 円

- ②参加料について
1. 全大会 10,000 円(昨年同様)

6) その他

1. 添付資料の「令和 8 年度 大分県連事業計画(抜粋)」
「競技運営に関する申し合わせ事項」「学童の部・大分県大会注意事項について」の熟読をお願いいたします。

3 その他報告事項

※県連より大分県新球場アンケート募集結果報告

県内 10 競技団体 120, 321 名の署名を県知事に提出

4 閉 会

	一般	学童	少年(中学)
チーム登録料	1 3, 0 0 0	1 3, 0 0 0	1 0, 0 0 0
大会参加料	1 0, 0 0 0	1 0, 0 0 0	1 0, 0 0 0

令和7年度決算(案)

収入(明細書添付)

科目	令和6年度決算	令和7年度予算	令和7年度決算 (案)	予算差額	備考
繰越金	125,674	194,991	194,991	0	
会費(登録料)	627,750	650,000	589,700	-60,300	・一般(20)13,000+(個人411名×200円) ・中学(7)10,000+(個人138名×50円) ・学童(12)13,000+(個人280名×50円)
大会参加料	1,402,000	1,400,000	1,500,000	100,000	・一般13大会 ・中学4大会 ・学童7大会
雑収入	489,062	480,000	536,126	56,126	・協賛金／大分みらい様、 マレリ九州様、オイレス工業様 ・中津スポーツ協会活動推進費 ・預金利息、他
計	2,644,486	2,724,991	2,820,817	95,826	

支出(明細書添付)

科目	令和6年度決算 (案)	令和7年度予算	令和7年度決算 (案)	予算差額	備考
大会運営費	1,244,193	1,300,000	1,360,042	60,042	・審判代、球場代等 ・試合球、メンバー表 他
負担金	535,800	550,000	539,300	-10,700	・県連登録・体協負担金 ・スポーツ保険 ・オレンジボール
事業費	443,678	450,000	415,263	-34,737	・上位大会出場助成金 ・協賛大会メダル、トロフィー ・佐賀中津大会負担金 他
会議費	7,480	20,000	9,070	-10,930	・総会、理事会
旅費	15,000	80,000	102,000	22,000	・審判講習会 ・県審判派遣 ・佐賀中津大会
審判部費	47,873	50,000	35,776	-14,224	・審判講習会
事務費	71,925	90,000	65,594	-24,406	・事務委託料 ・三沢コピー機、領収書 他
通信費	51,974	55,000	45,731	-9,269	・NTT(三沢) ・ハガキ、切手、振手代等
雑費	31,572	50,000	25,922	-24,078	・競技者必携 ・合鍵、ゴミ袋 他
予備費		79,991		-79,991	
繰越	194,991		222,119		
計	2,644,486	2,724,991	2,820,817	95,826	

令和8年度予算(案)

収入

科目	令和7年度決算(案)	令和8年度予算(案)	備考
繰越金	194,991	222,119	
会費(登録料)	589,700	600,000	・一般(22)×13,000+構成員登録×200円 ・中学(7)10,000+構成員登録×50円 ・学童(12)13,000+構成員登録×50円
大会参加料	1,500,000	1,500,000	・参加料(全て10,000円) 一般13大会/中学3大会/学童6大会
雑収入	536,126	480,000	・各種大会協賛金 ・体育協会活動推進費 ・預金利息 他
計	2,820,817	2,802,119	

支出

科目	令和7年度決算(案)	令和8年度予算(案)	備考
大会運営費	1,360,042	1,400,000	・審判代 ・球場代 ・メンバー表 ・審判活動費他
負担金	539,300	550,000	・県連登録 ・体協負担金 ・オレンジボール登録
事業費	415,263	450,000	・県体活動費 中学部活動支援 ・後援学童大会メダル、トロフィー ・オレンジボール 他
会議費	9,070	20,000	・総会、理事会等
旅費	102,000	50,000	・県主催会議 ・講習会
審判部費	35,776	50,000	・審判講習会 ・飲料等
事務費	65,594	90,000	・事務委託料 ・三沢コピー機等
通信費	45,731	55,000	・三沢電話 ・ハガキ ・切手代等
雑費	25,922	50,000	・競技者必携 ・慶弔費 ・消耗品費 他
予備費	0	87,119	
(繰越)	222,119		
計	2,820,817	2,802,119	

令和8年度 大分県連事業計画（抜粋）

(1) 令和8年度の大会スケジュール・大会会場について

④シニア（実年）クラスの大会について

県大会は決勝戦と3位決定戦を行い、優勝チームが5月の第9回全日本シニア大会（埼玉県）に準優勝・3位チームが11月の全九州実年大会（福岡県）に必ず出場することとする。

⑤一般Bクラス、Cクラスの大会について

高松宮県大会は23チーム（大分4、鶴崎3、別府3、各支部1）で行う。

めじろんカップ第18回大分県B級選抜選手権大会、C級選抜選手権大会の開催について

昨年に引き続き大会を開催する。各支部代表1チーム、合計16チームに西日本、高松宮大会の県大会優勝・準優勝チームを推薦出場として選手権大会を開催する。

なお、西日本B、高松宮B級の県大会優勝チームがめじろんカップB級で優勝した場合は翌年度から2年間はA級へ昇格する。C級の優勝・準優勝チームは翌年度からB級に昇格する。。

⑧学童の大分県大会の出場チーム数を32チームとする。（TOS大会も同様とする。）

開会式については、全軟連の示す夏季の大会運営についての通知に基づき判断する。

全日本学童大分県大会では、チーム内に必ず有資格指導者がいないと出場できない。

全日本学童大分県大会でベスト4に入ったチームは、7月開催のスポーツ少年団大分県大会に出場できない。スポーツ少年団の有資格指導者は監督・コーチの2名以上に義務付ける。

スポーツ少年団県大会と県学童大会においては、ダブルヘッダーを行わないこととする。

学童の県大会のパンフレットを有償（3,000円）とし、抽選会時に申し込みをすることとする。

⑨OABカップ第10回オレンジボール（3年生以下）学童県大会を開催する。各支部1チーム合計16チームにより10月に県大会を開催する。初日敗戦チームによるアフターマッチファンクション（交流試合を行う。この試合については、敗戦チームからの相互審判とする。）

(2) 令和8年度大分県軟式野球連盟登録料、個人登録料、県大会参加料、九州大会参加料について

○競技者（個人）登録料 学童・中学50円、一般200円

（令和9年度から学童・中学200円、一般500円に増額する。）

(3) 令和8年度大分県軟式野球連盟県大会組み合わせ抽選会について

○学童の部 ※監督会議には2026年版競技者必携を必ず持参のこととする。

(10) 日本スポーツ協会公認コーチ1指導者養成講習会 12月上旬 3日間予定 大分市

(11) その他

①成年・マスターズ・実年のチーム編成について、支部予選大会から地区ブロック内の選手を補強して出場できる。（※ただし、県大会には予選で負けたチームからの補強はできない。）

九州大会・全国大会に出場する場合は県下から補強できることとする。なお、日本スポーツマスターズ大会のチーム内の監督・コーチは公認コーチ1又は3の有資格者とする。

③学童の県大会出場時の注意事項、競技運営に関する申し合わせ事項等について

4回終了時に7点差がある場合はコールドゲームを採用する。

少年部（学童・少年）の大会において、指名打者制度（DH制）を適用する。ただし、二刀流

（大谷ルール）は適用しない。学童の大会で使用するバットについて、一般用バット（打球部に弾性体を取り付けたもの）の使用を禁止する。一般用木製、金属、カーボンバットは使用可能。少年部（中学）は除く。2029年度からは弾性体を取り付けたものは学童・少年ともに使用禁止となる。

なお、オレンジボール県大会は、弾性体を取り付けたバットの使用を禁止とする。

一般用木製、金属、カーボンバットは使用可能。（支部大会においても同様とする。）

また、スポーツ少年団の大会に出場する場合は、必ずスポーツ少年団の登録をすること。

④今年度は4年に一度の持ち回りで、スポーツ少年団の全国大会（大会名：エンジョイ！軟式野球フェスティバル）に出場できるので、この大会には全日本学童の準優勝チームを出場させる。

⑤捕手用防具（マスク・プロテクター・レガーズ）のJSBBとJSAの商品統一化が行われる。

⑥ユニフォームの上着のレイヤーシャツについては、シャツをパンツに入れることとする。

⑦県大会に棄権及び不正した場合は、（公財）全日本軟式野球連盟規程細則に沿った処置を行う。（県大会の2日目に棄権があった場合は、翌年度該当支部の県大会出場枠が無くなる。）

⑧県連登録申込書、参加申込書に記載の個人情報大会運営においてのみ利用し他には使用しません。

⑨チームは必ずスポーツ（傷害・損害賠償付帯）保険に加入すること。

⑩競技者必携は、毎年改訂があるので、支部の役員・チームは必ず購入することとする。

⑪九連会長杯、九州少年、九州学童の3つの九州大会は、野球ネットでの参加申込みとなる。

※県連・各支部・審判部を通さずに全軟に直接（電話・メールなど）は一切行わないこと。

★競技運営に関する申し合わせ事項（一般の部）★

県大会は、今年度野球規則及び競技者必携による他、下記の申し合わせ事項により行う。

1. 野球規則、競技者必携並びに本申し合わせ事項は、必ずチーム全員に徹底させること。
一般の部の全ての大会で指名打者制度を適用する。
2. ベンチは、組合せ表の若い番号を1塁側とする。
(ただし、1チームが2試合続けて行う場合はベンチの入れ替えは行わない。)
3. 競技に参加する各チームは、試合開始時刻60分前に球場に参集し、試合開始30分前までに、監督または主将が打順表を本部に提出すること。(必ずユニフォーム着用)
◎第2試合以降のチームは、前の試合4回終了時に打順表4部を提出のこと。
◎打順表には、登録されている者全員を記入(フルネーム・フリガナ)すること。
※大勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
4. (1) 一般Aクラスの試合について
○試合は9回戦とする。WESTJAPAN大会については時間制を採用する。
○延長戦は、準決勝戦までは、10回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦のみ延長戦を2回実施し、決しない場合は12回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦は無死1・2塁、打者継続、勝敗の決するまで行う。
○コールドゲームは、5回以降7点差とする。(決勝戦のみ7回以降7点差とする。)
○降雨、日没などで試合を変更する場合は、球場責任者の判断で監督に伝達する。
(2) 他のクラスの試合について
○試合は7回戦とする。延長戦は8回表から特別延長戦を行う。
○試合開始時間から2時間を経過した場合は、次の回から特別延長戦を実施する。
○特別延長戦、コールドゲームなどについては、上記の一般Aクラスに準ずる。
5. 試合中は次の行為を禁止する。
 - (1) ベンチ内でのガム、喫煙。喫煙のために試合中にベンチ外に出ることは禁止する。
 - (2) ベンチからの好ましくない野次。
 - (3) プレーヤー、審判員に対する個人攻撃。(目にあまる行為は厳重に処分する。)
 - (4) ベンチ内での携帯電話及び携帯マイクの使用を禁ずるが、電子スコア記録用として、1台の使用は認める。メガホン1個に限る。
 - (5) 打者が投げ終わった球種を次打者他に知らせることを禁止する。
6. 試合はホームプレートを含んで挨拶のときに、正規のユニフォームを着用した10名以上の選手がいなければならない。
7. 抗議のできる者は、監督または主将と当該プレーヤーのみとする。
8. ランナーズコーチも必ずヘルメットを着用すること。
9. 次打者は、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。
10. 試合をスピーディーに行うため、攻守交代は駆け足で行うこと。投手は捕手、その他の野手または審判員からボールを受けた後、走者がいない場合には12秒以内に、走者がいる場合は20秒以内に投球しなければならない。違反した場合、球審はただちにボールを宣言する。
11. 攻守交代の最後のボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ることに。
12. 試合中、選手がスパイクの紐を結び直すため等のタイムは認めない。攻撃中ベンチ内で締め直すように心掛けること。2塁打を打ち手袋を走者用に変えることは認めない。
13. ファウルボールは一塁側、三塁側へ飛んだ方向のベンチ側が処理し、中間は攻撃側チームが処理する。主審へのボール渡しも適時攻撃チームが行うこと。
14. 試合中、内野手の転送球は一廻り以内とし、定位置付近で行うこと。(試合状況により制限することもある。)
15. アンフェアな行為、スポーツマンシップに則しない行為は慎むこと。
プレイを利用して相手選手を欺く行為(アンフェアプレイ)を禁止する。現実に欺く行為が行われた場合、審判員の判断で進塁を認めるかプレイを無効にする。
16. 試合中はみだりにベンチから出ないこととする。試合中、ベンチ前のキャッチボールは禁止するが、ブルペンでのキャッチボールは2組4名以内とする。
17. 球場内では、練習中でもユニフォーム(統一したもの)を着用すること。
18. サンングラスの着用を認める。帽子のツバに乘せることも出来る。投手のミラーレンズは認められない。
19. 捕手は安全のためファウルカップを着用すること。
20. 試合終了後のグラウンド整備は必ず両チームで行うこと。ベンチの清掃も行うこと。

＜学童の部・大分県大会注意事項について＞

1. 開会式等がある大会は開始時間の45分前迄には集合し、受付を済ませてください。
※選手の移動については時間にゆとりを持ち、安全運転に十分留意して下さい。
大会パンフレットは有償販売ですので、大会本部にて3,000円を納入し受領してください。大会出場記念として各チームの集合写真を写真会社が撮影します。後日、チームの代表者にパネル等の見本品をお送りしますので、代表者の方は連絡先等を写真会社に知らせてください。(個人情報厳守いたします。)
2. 開会式の入場行進については、同一ユニフォームを着用した選手で背番号が「0番～99番」の選手のみ入場行進を認めます。(総勢30名迄とするがベンチ入りは25名)
行進は背の低い順に2列行進で行います。選手はスパイクを着用のこと。
入場行進は開会式での重要なセレモニーです。行進の練習をお願いします。
開会式にはチーム名のブラカード、代表旗(優勝旗)、団旗を持参してください。
3. 開会式時には監督・コーチはグラウンドに整列をして選手への激励をお願いします。
4. 組合せ表の試合開始時間は目安であり、天候等の状況により開始時間を早めることもあるので、開始予定の1時間前には集合してください。球場の開門は1時間前とする。
(雨天時の組合せは各チーム代表者1名のみが問合せを行ってください。県連からは各チームの代表者に連絡はしないので、自チームで勝手な判断をしないでください。)
※雨天の場合でも試合開始時間を遅らせて日程を消化することもあります。
5. 各球場ともに十分な練習会場がありませんので、ご理解ください。
6. 当日、登録監督が不在の場合はコーチの代理を認めるので、試合前に届け出ること。
7. ベンチ入り出来る大人は、監督1名、コーチ2名、チーム代表者1名、引率責任者1名、スコアラー1名、トレーナー(有資格者)1名の合計7名迄とする。(男女は問わない)なお、熱中症対策として保護者2名以内をベンチに入ることができる。ベンチ入りする大人はスポーツ行事にふさわしい格好であること。ハーフパンツは禁止とする。スパッツは可とする。なお、ユニフォームの着用(ロングパンツ禁止)は監督1名とコーチ2名の合計3名のみで、以外の大人はユニフォームを着用してベンチ内に入ることはできません。試合開始前の練習時に保護者がグラウンド内に入り練習の補助はできない。試合後のグラウンド整備は、両チームの選手で行うこと。
8. 6イニング制・時間制限(1時間30分)を採用する。健康維持を考慮し、5回終了前であっても試合開始後1時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回完了をもって試合を決する。コールドゲームは4回以降7点差とする。
9. 2試合目以降のオーダー交換は前の試合の3回終了時まで監督と主将がユニフォームを着用のうえ本部に来て行う。当日、監督不在の場合は必ず事前に代理を申し出ること。第2試合以降は、前の試合終了後20分を目安に次の試合を開始する。
10. 聞き苦しい保護者の「ヤジ」はチームの責任として対処します。
チームの応援は自チームが攻撃の時を基本とし相手が攻撃の時は控えることとする。
※投手が投球動作に入ったら、応援はやめること。(全国スポーツ少年団競技規則)
ベンチ内の大人がいかなる場面であろうとも、選手を委縮させるような言動はしないこと。
11. 選手の守備・打者用手袋の着用については、色を含め規制をしないこととする。
12. 捕手は安全のため、ファウルカップを着用すること。なお、投球練習時の捕手は必ずキャッチャーマスクを着用すること。(控え捕手も同様)
13. 投手の投球制限については、選手の肘、肩の障害予防として下記の取り扱いとする。
①1人の投手は、1日並びに1週間の投球できる数を下記のとおりとする。
学童部(1日:70球以内、1週間:210球以内)(4年生以下60球、180球)
②試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
③バークにもかわらず投球したものは、球数に数える。
④タイブレークになった場合、1日70球制限内で投球できる。
⑤牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
⑥投球数の管理は、大会本部で行うので、各チームも協力すること。
14. 小学校低学年(3年生以下)の選手を大会に出場させる場合は、必ず保護者の同意書の提出を必要とする。(押印不要、開会式当日に受付時に同意書を提出すること。)
15. 試合当日は、両チームでボールボーイの配置をお願いします。
16. 2025年度から一般用のバット(打球部に弾性体を取り付けたもの)の使用は禁止する。